

2015年第3回IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時：2015年12月1日（火） 14:00～17:25

場所：NEC本社ビル 2階 241会議室

出席者：青山 Chair、雁部 Vice Chair、原崎 Secretary、藤代 Treasurer、
山本、安達、エルナン(代理)、古橋、山内、種谷、垂水、岩井(代理)、福田(晃)、持田、
小山、高村、稲森(代理)、島村(代理)、杉江、尾上、南、Park (敬称略、順不同)
オブザーバ：百武、(敬称略)

事務局：加藤、長塚 幹事会社：柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認（審議）
2. 2015年活動報告および2016年活動計画（審議）
3. 2015年決算予想および2016年予算（審議）
4. 常設委員会2015年活動報告、2016年活動計画案および予算案
 - 4-1 Chapter Operations Committee
 - 4-2 Student Activities Committee
 - 4-3 Award Committee
 - 4-4 Industry Promotion Committee
5. Ad-Hoc 委員会2015年活動報告、2016年活動計画案および予算案
 - 5-1 Long Range Strategy Committee
 - 5-2 History Committee
6. 各支部2015年活動報告
7. Affinity Group 2015年活動報告、2016年活動計画案および予算案
 - 7-1 Women in Engineering
8. その他
 - 8-1 IEEE Japan Council/Tokyo Section web・メールサーバ更新について
 - 8-2 Technical Co-Sponsor Fee について

議事：

1. 前回理事会議事録の確認（審議）

原崎 Secretary より前回理事会（2015 年 7 月名古屋開催）の議事録案の説明がなされ、異議無く承認された。

2. 2015 年活動報告および 2016 年活動計画（審議）

原崎 Secretary より説明がなされ異議無く承認された。

2016 年活動計画については、Section Assessment の還元および Section 支援費の有効利用による各支部の活動強化への協力や Ad-hoc 委員会の継続などが説明された。

3. 2015 年決算予想および 2016 年予算（審議）

藤代 Treasurer より 2015 年 10 月末日時点の収支報告および 2015 年決算予想と 2016 年予算の説明がなされ異議無く承認された。2016 年予算については為替を US\$1 = ¥116 と想定。JC 活動に必要な費用を除いた残りを各支部へ還元する。

4. 常設委員会 2015 年活動報告、2016 年活動計画案および予算案

4-1 Chapter Operations Committee

原崎 Secretary（杉山 Chair 代理）より報告がなされた。

2016 年予算については、JC COC が分配する支援費の増額を希望。支援費の上限額について 6 万円とされている点を見直し、審議ベースで 6 万以上の支援も可能とすることで活動の活性化につなげたい。

4-2 Student Activities Committee

原崎 Secretary（中里 Chair 代理）より報告がなされた。

2015 年活動については、SBLTW を東京支部主催 MAW と併催、スリランカにて開催された R10 SYW Congress への参加支援を行った。また SB 新設支援を行い、電気通信大学 SB が新たに設立された。2016 年計画については、8 月に SBLTW を関西支部主催 MAW と併設にて開催する。

4-3 Award Committee

まず南 Vice Chair から配布資料に沿って報告が行われ、その後青山 Chair より 2016 年 Award 受賞者の紹介が行われた。2015 年活動については、受賞に向けた推薦活動についてのノウハウ集約と情報共有を実施した。また JC Website 上の Award 受賞者関連情報について更新を行った。2016 年については 1 回の会合を予定。また今後 JC AC でのフェロー推薦の支援について検討を行う予定である。

4-4 Industry Promotion Committee

持田 Chair より報告がなされた。

2015 年活動については、IEEE 会長およびボードメンバ訪問時の企業役員との意見交

換、IEEE-Standard Association Board との懇談会をはじめ、各種イベントへの協力が紹介された。2016 年計画についても引き続き IEEE と企業の連携を強める企画を推進する。

5. Ad-Hoc 委員会 2015 年活動報告、2016 年活動計画案および予算案

5-1 Long Range Strategy Committee

雁部 Chair より報告がなされた。

全体としては 13-14 年期の活動を継続し、15-16 年期も JC の活動への若手の参加促進施策の策定を中心テーマとして検討。2016 年計画は、日本の共通部門としての JC が日本の IEEE 活動全体へ貢献するための改善案策定を行う。

5-2 History Committee

島村 Vice Chair より報告がなされた。

Histelcon2017 については JC HC 主催 ・ JC 共催で日本での開催が承認されており、委員会構成案についてメンバ紹介がなされた。第 1 回準備委員会を 12 月 15 日に行い早急に開催日程も含め調整を進めていくことが説明された。

6. 各支部 2015 年活動報告

6-1 札幌支部

山本 Chair より報告がなされた。共催事業としての電気・情報関係学会北海道支部連合大会にて IEEE としての存在感を出すべく活動を行った。若手加入促進が重要課題のため、学生対象の表彰制度に取り組んでいる。

6-2 仙台支部

安達 Chair より報告がなされた。Student Activities 各事業についての開催報告、今後の若手活性策として東北大学 SB が中心となり SB 設立が難しい大学も巻き込んだ活動への取り組みを検討していることが紹介された。また任期満了に伴う次期の役員改選の実施について報告された。2016-2017 年期 Chair は東北大学の中沢先生の決定が伝えられた。

6-3 信越支部

エルナン Secretary より報告がなされた。学生の国際会議参加支援のための奨励賞実施については、学生の国際会議参加へのモチベーション向上とともに、IEEE 会員および非会員の入会予定者を対象とすることで、入会促進にもつながるように取り組んでいる。IEEE 信越 Session においては英語発表の優秀者を表彰している。

6-4 東京支部

杉江理事（東京支部 Chair 代理）より報告がなされた。審議事項の JC 理事会への東京支部選出理事 2 名の変更については異議無く承認された。2016 年 1 月より変更。活動報告については、6 回の講演会開催や東京支部主催で MAW を開催したことが説明

された。

6-5 名古屋支部

古橋 Chair より報告がなされた。例年の電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会での IEEE 名古屋支部学生奨励賞などに加えて、本年は電気関係学会北陸支部連合大会においても IEEE 名古屋支部学生奨励賞を初めて授与することができた。また名古屋支部 YP 設立に伴い 12 月に YP 設立キックオフイベントを開催する。

6-6 関西支部

種谷 Vice Chair より報告がなされた。関西支部推薦で MU レーダーが IEEE マイルストーンに認定され、式典が開催された。MDC 活動において Senior Member 昇格については力を入れており、2015 年昇格者は 10 月末現在 16 名となった。2016 年は関西支部主催の MAW が最大のイベントとなる。

6-7 四国支部

垂水 Chair より報告がなされた。Student Activities においては Section 支援費を利用して英語ブラッシュアップ講座を四国各県にて開催した。President-Elect 等の 2015 IEEE Annual Election の voting 率では四国支部が第 2 位という結果で US\$300 の incentive を Region 10 から受け取ることとなった。(第 3 位は広島支部。)

6-8 広島支部

岩井 Vice Chair より報告がなされた。広島支部学生シンポジウム (HISS) には沢山の学生に参加いただくことができた。今回は中国地方のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) への呼びかけを行った結果、高校生の発表も行われ活性化につながった。今後 HISS の他支部との連携強化を目指した検討を進めている。

6-9 福岡支部

福田 Chair より報告がなされた。特に 2 つの表彰制度については、IEEE 国際会議論文において学生研究奨励賞の審査が現在行われおり、電気・情報関係学会九州支部連合大会では国際セッションを設け発表奨励賞を審査中である。来年も例年同等の活動を行う予定である。

7. Affinity Group 2015 年活動報告、2016 年活動計画案および予算案

7-1 Women in Engineering

WIE 稲森 Secretary より報告がなされた。

5 月の東京支部主催 MAW では Session の支援を行い、WIE の 10 周年も祝賀した。11 月には WIE2015 シンポジウムの開催を行い WIE10 周年特別企画も実施、およそ 100 名の参加があり盛況であった。また WIE ILC や WIE ILS などの国際的な活動にも積極参加を行った。来年も海外派遣も含め積極的な活動を行っていきたいと考えている。

8. その他

8-1 IEEE Japan Council/Tokyo Section web・メールサーバ更新について

原崎 Secretary より WEBサーバの入れ替えについて費用を含めた具体的提案が行われた。本件については異議無く承認された。

8-2 Technical Co-Sponsor Fee について

原崎 Secretary より報告がなされた。

新たな費用負担の決定内容について、2015年12月31日～適用との通知があったため報告資料を準備した。しかしながらその後11月のMGAボード会議で修正されることが決議された。今後新たな情報を関係者へ適宜お知らせする。

以上